

# News Letter

2023



川の防災学習会 in 北見市立三輪小学校

## 「マイ・タイムライン」 & 「マイ・ハザードマップ」 実施レポート

### ◆開催概要◆

令和5年11月28日(火)、北見市立三輪小学校において、5年生3クラスを対象に「川の防災学習会」を開催しました。

三輪小学校では5年生を対象に令和2年度から実施している「川の環境学習会」に加え、昨年度からは「川の防災学習会」を開催しています。



私たちの身の周りにはどんな危険がある？

### ◆実施内容◆

はじめに、身近にある無加川の増水前後の写真を見比べながら、増水時の川では何が起きているのかを皆で考えました。水は高いところから低いところへ流れ集まること、常呂川流域の中に降った水はすべて常呂川に集まることを確認しました。



流域内の水が集まることをコップの水で表現しました

その後、増水した川で起こる災害を例示し、守り切れない水害も発生することや、災害のなかでも「水害」は気象情報やハザードマップ等の情報を組み合わせることにより、いつ発生するか「予測」できることを説明し、事前防災として『マイ・タイムライン』『マイ・ハザードマップ』の2つを作成しました。

『マイ・タイムライン』作成では、避難が完了し、河川氾濫が発生する時を0時とし、台風が発生した3日前から何を準備し行動すべきかを各自考えました。



水害が起きそうな時どの順番で行動する？

『マイ・ハザードマップ』作成では、自宅や学校の周辺に危険な場所はないか、水が集まりそうな場所はないか等を地図上に記入し、北見市発行のハザードマップを示すほか、どのように浸水するのか時間経過も例示しました。



『マイ・ハザードマップ』作成  
赤・青・緑のシールを貼ります



3択クイズ  
どこに避難すればいい？



どこが浸水するのか  
確認してみよう



水深5mをスケールで確認  
その高さにみんなビックリ!



非常持出品の例  
何をどのくらい持って行く？



非常持出品がすごく重い!  
事前に取捨選択が必要です

おわりに、避難情報が出たときには命を守る行動(避難所への避難を基本)をとること、早め早めの準備が必要なことを確認し、まとめました。

### ～知って得する 避難の心がまえ～

避難に高いハードルを感じる方もいると思います。せっかく避難して家に被害がなかった場合、“空振りだった”“避難する必要はなかったのでは”と思うかもしれません。しかし、実際に避難すると、非常持出品の過不足や避難経路の確認、避難所の雰囲気把握など、新しい発見が必ずあるはずです。その発見や経験は今後の避難行動に活かすことができます。避難行動を「空振り(失敗)」ではなく「素振り(練習)」にとらえることで、避難に対し高いと感じたハードルが下がり、早めの避難行動につながるのではないのでしょうか。

出前講座のお申込み・お問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町71番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】0157-23-6118 【FAX】0157-23-6126

# News Letter



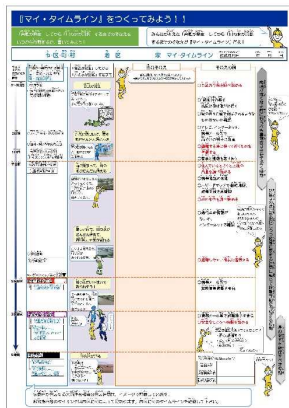
## 川の防災学習会 in 北見市立小泉小学校

### 「マイタイムライン」実施レポート

#### ◆開催概要◆

令和5年10月23日(月)、北見市立小泉小学校において、6年生2クラスを対象に「川の防災学習会」を開催しました。

小泉小学校では、平成20年から4～6年生を対象として「川の環境・防災学習会」を総合的な学習の時間において実施しています。流域治水の取り組みとして、「いつ」「何をするか」を整理した『マイタイムライン』を、6年生の学習会で令和3年から実施しています。



行動を「見える」化した『マイタイムライン』

#### ◆実施内容◆

はじめに、昨年度学習した内容の振り返りとして、毎年日本のどこかで自然災害が起きていること、小泉小学校周辺は以前川だった場所で水が集まるため水害の危険性があることを、児童たちに再確認してもらいました。



小泉小学校周辺は水が集まる地域と再確認

次に、「流域治水とSDGsの関係」について話した後、マイタイムライン作成ツール『逃げキッド』を使い、台風や前線が発生してから川の水が氾濫するまでの間で、どのような準備や行動をどの順番で行うとよいかを考えました。



防災教育や環境教育もSDGsの取り組み



水害が起きそうな時の順番で行動する？

後半では、「非常持出品」の準備に挑戦。非常持出品リストの中から、水害時の避難で何が必要なのかを考え、どれぐらいの荷物になるかをリュックに詰めて実際に体験しました。児童からは「避難したらスマートフォンは必要」「水がこんなに必要だと思わなかった」などの声が上がりました。

また、スマートフォンの浸水被害ARシミュレーションアプリ『浸水カメラ』を使用し、周囲が浸水したらどうなるかを視覚的に体験しました。

最後に、地震などの災害はいつ起こるかわからないが水害はいつ起こるかある程度予想できること、家族と「連絡手段」「避難場所」「避難の道順」を確認してほしいということを伝え、3年間実施した「川の環境・防災学習会」を終えました。



非常持出品リストをチェック  
必要なものはどれかな？



非常持出品の例  
何をどのくらい持っていく？



準備した非常持出品を  
背負ってみよう



周囲が浸水したら？  
『浸水カメラ』で確認しました

#### ～知って得する 「流域治水」～

「流域治水」とは、①氾濫をできるだけ防ぐ・減らす ②被害対象を減少させる ③被害の軽減・早期復旧・復興、の3つのポイントで、国や地方自治体だけでなく住民など“流域に関わる全員で水害に備える”というものです。マイタイムラインを検討したり、排水路を清掃したりすることも流域治水になります。この機会にご家族みんなで防災について今一度考えてみてはいかがでしょうか。

出前講座のお申込み・お問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町71番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】 0157-23-6118 【FAX】 0157-23-6126



### 「マイ・ハザードマップ」実施レポート

#### ◆開催概要◆

令和5年11月14日(火)、北見市立小泉小学校において、5年生2クラスを対象に「川の防災学習会」を開催しました。

小泉小学校では、平成20年から4～6学年を対象として「川の環境・防災学習会」を総合的な学習の時間において実施しています。

#### ◆実施内容◆

はじめに、今年の6月から7月にかけて九州や秋田県で起きた大雨の被害を見て、日本では毎年のように水害が発生していることを確認しました。次に、平成28年8月に台風の影響を受けた常呂川の映像から、水害が身近にも起こりうることも確認しました。また、常呂川の洪水前後の写真や動画を見比べながら、増水した川では何が起きているのかを皆で考えました。

その後、<sup>ないすいはんらん</sup>内水氾濫(川から水があふれ出ていないのに街が浸水)・地下浸水(水圧でドアが開かない)・竜巻(強い上昇気流による激しい突風)・流れる水の



毎年のように繰り返す豪雨災害の様子を確認

動きと土地の変化(大雨による土砂の侵食・運搬・堆積)の模型実験を見学し、積乱雲などの下で見られる大雨や風の災害を学習しました。

後半では、各班に用意した大きな地図へ通学路周辺の水が集まりそうな場所や大雨が降った時に危険だと思ふ場所などを記入し「マイ・ハザードマップ」を作成。小学校周辺の地形の特徴や避難場所などをクイズ形式で学びました。最後に、災害・防災情報の入手方法としてWebブラウザで『川の防災情報』にアクセスする方法を、実際にタブレットを使って試してみました。



地図にシールやマーカーで情報を記入していきます



「高い所にある建物は何れ?」避難場所をクイズで学習



どこが浸水するのか確認してみよう



『川の防災情報』で近くの川の水位を確認してみよう



近ごろよく耳にする内水氾濫とは?



ドアにかかる水圧をばねばかりで計ります



積乱雲の下では竜巻が発生することがあるんだね



流れる水のはたらきを模型で学びました

#### ～知って得する 防災に関する情報～

全国各地で毎年のように水害が発生しており、今年は6月29日からの大雨により九州を中心に、7月15日からの大雨により秋田県で被害が発生しました。

災害から身を守るため、自らが最新の情報を収集し避難行動へつなげることが効果的です。最新の河川水位や気象など避難につなげる情報は、インターネット(国交省『川の防災情報』・気象庁『キキクル』など)で得られます。また、北見市のメール配信システム「メール@きたみ」で避難所開設情報などを受け取ることができます。

避難行動の際には是非ご活用ください。

出前講座のお申込み・お問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町71番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】0157-23-6118 【FAX】0157-23-6126

# News Letter

2023



## 川の防災学習会 in 北見市立北光小学校

### 「マイハザードマップ」実施レポート

#### ◆開催概要◆

令和5年7月21日(金)、北見市立北光小学校において、5年生3クラスを対象に「川の防災学習会」を開催しました。

北光小学校では、平成18年から4年生を対象に「川の環境学習会」を実施しているほか、平成26年から5年生を対象に「川の防災学習会」を実施しています。



水害が身近で起こったら…?

#### ◆実施内容◆

はじめに、今年の6月から7月にかけて九州や秋田県で発生した大雨の被害状況などを共有し、毎年のように日本のどこかで水害が発生していることを確認しました。北見市に隣接する美幌町で今年の7月13日に発生した大雨や、平成28年8月に北海道を襲った台風の影響を例に、水害が身近に起こりうることも確認しました。また、身近にある無加川の洪水前後の写真や動画を見比べ、増水した川では何が起きているのかを皆で考えました。

その後、内水氾濫(川から水があふれ出ていないのに街が浸水)・地下浸水(水圧でドアが開かない)・竜巻(強い上昇気流による激しい突風)・流れる水の動きと土地の変化(大雨による土砂の侵食・運搬・堆積)の模型実験を見学してもらい、積乱雲などの下で見られる大雨や風の災害を確認しました。



近ごろよく耳にする「内水氾濫」とは?



積乱雲の下では竜巻が発生することがあるんだね



流れる水のはたらきを模型で学びました

後半では、各班に用意した大きな地図へ通学路周辺の水が集まりそうな場所や大雨が降った時に危険だと思う場所などを記入し「マイハザードマップ」を作成。小学校周辺の地形の特徴や避難場所などをクイズ形式で学びました。最後に、災害・防災情報の入手方法としてWebブラウザで「川の防災情報」にアクセスする方法を、実際にタブレットを使って試してみました。



家から学校へのルートを確認



雨が降ったら危険そうなのはどこかな?



自分たちの住むところはどうのくらい浸水するのかな…



タブレットで防災情報をチェック

#### ～知って得する 防災に関する情報～

全国各地で毎年のように水害が発生しており、今年も6月29日からの大雨により九州を中心に、7月15日からの大雨により秋田県で被害が発生しました。

災害から身を守るため、自らが最新の情報を収集し避難行動へつなげることが効果的です。最新の河川水位や気象などの情報はインターネット(国交省「川の防災情報」・気象庁「キキル」など)で得られます。また、北見市のメール配信システム「メール@きたみ」で避難所開設情報などを受け取ることができます。

避難行動の際には是非ご活用ください。

降雨に伴う自主避難所の開設について

From: "メール@きたみ"

To:

件名: 降雨に伴う自主避難所の開設について

2023年7月13日 12:26

令和5年7月13日午前10時10分ころ、局地的な降雨によりパンケビバツ川が一時的に溢水いたしました。現在は水が引いておりますが、下記の地区にお住まいで自宅にとどまることが不安な方は自主避難所にお越しください。

■対象地区  
留辺蘂町の以下地区  
昭栄、温根湯、平里

■開設避難所(自主避難所)  
おんねゆ学園

問い合わせ先 北見市留辺蘂総合支所総務課  
(0157-42-2421)

「メール@きたみ」から届いた避難所開設を知らせるメール

出前講座のお申込み・お問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町71番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】0157-23-6118 【FAX】0157-23-6126

# News Letter

2023



川の防災学習会 in 北見市立中央小学校

## 「川の防災学習」実施レポート

### ◆開催概要◆

令和5年11月17日(金)、北見市立中央小学校において、4年生2クラスを対象に「川の防災学習会」を開催しました。

中央小学校では、第4学年総合的な学習の時間において「ぼくらの街を守り隊」として防災・減災に関して学びを深めており、その一環で昨年度より「川の防災学習会」を実施しています。

### ◆実施内容◆

はじめに、令和3年8月豪雨で被災した佐賀県六角川と今年の6月から7月にかけて九州や秋田県で起きた大雨の被害を見て、日本では毎年のように水害が発生していることを確認しました。



常呂川の長さはどのくらい？

次に、常呂川のすがたや流域についての学習後、コップとボールを使ったゲームをし、川が周囲の支川から水を集めて海まで流れていくこと、流域内で大雨が降るとコップからボールがあふれるように堤防から水があふれる「越水」が起こりうることを学習しました。また、平成28年8月に北見市日吉地区で常呂川が越水した様子や、音更川で堤防が削られる様子から、堤防でも防ぎきれない水害があることを示した後、流水実験装置を用いて川岸が削れる様子などをみんなで観察しました。

後半は、水害時の情報収集や避難について学習。情報収集として、Webブラウザで『川の防災情報』を検索し、身近な川だけでなく日本全国の川の水位



コップを川に、ボールを水に見立て下流へボールを渡します



川のカーブの外側と内側どちらが削れるかな？

や画像が見られること、洪水ハザードマップで中央小学校周辺に浸水想定区域はないものの、土砂災害警戒区域があることを学びました。避難については、非常持出品リスト中から水害時の避難で何が必要なのか考え、非常持出品の実物をみんなで見て確認しました。また、素足や長靴で避難しないことや、濁って見えない足元の安全を確保するために棒をもって歩くことなど、避難時の注意点を学びました。

北見市も例外ではなく自然災害が起こること、それに備えて早め早めの準備が必要であることをまとめとして防災学習会を終えました。



『川の防災情報』で近くの川の水位を確認してみよう



土砂災害警戒区域をハザードマップでチェック



「これは何に使うの？」様々な避難グッズに興味津々



警戒レベル4までに避難を済ませよう！

### ～知って得する 災害時のトイレの重要性～

防災備蓄品と聞くと、まず水や食料といった直接命にかかわるものが思い浮かびますが、絶対に忘れてはならないのは“トイレ”です。様々な災害でトイレが使えなくなることが予想されますが、避難所に仮設トイレが届くまでに3日以上かかるといわれています。水害時はマンホールトイレも使えません。猛暑や極寒でなければ水や食料は1日口にしなくても我慢できますが、トイレは数時間我慢することもできません。トイレに行く回数を減らそうと水や食料の摂取を控えると、エコノミークラス症候群など体調悪化につながります。また、流れないトイレに何度も用を足しトイレが汚物まみれになると、悪臭や病気の蔓延など避難環境が著しく悪化してしまいます。非常持出品にも備蓄品にも、1人1日5回分を目安に、必ず簡易トイレを用意しておきましょう。

出前講座のお申込み・お問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町71番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】0157-23-6118 【FAX】0157-23-6126

# News Letter

2023



川の防災学習会 in 北見市立南小学校

## 「マイ・タイムライン」実施レポート

### ◆開催概要◆

令和5年11月21日(火)と12月12日(火)に、北見市立南小学校において、4年生3クラスを対象に「川の防災学習会」を開催しました。

南小学校では「川の環境学習会」の開催はありましたが、「川の防災学習会」は今回が初めての開催となりました。

### ◆実施内容◆

はじめに、身近にある常呂川の増水前後の写真を見比べながら、増水時の川では何が起きているのかを皆で考えました。水は高いところから低いところへ流れ集まること、常呂川流域の中に降った雨はすべて常呂川に集まることを確認しました。また、増水した川で起こる災害を例示し、守り切れない水害も発生することを確認しました。

次に、「流域治水とSDGsの関係」についての話の後、災害のなかでも「水害」は気象情報やハザードマップ等の情報を組み合わせることにより発生が「予測」できることを説明し、マイ・タイムライン作成ツール『逃げキッド』で、台風や前線が発生してから川の水が氾濫するまでの間で、どのような準備や行動をどの順番で行うとよいかを考えました。

後半は、「非常持出品」の準備に挑戦。非常持出品リストの中から、水害時の避難で何が必要なのかを考え、どれぐらいの荷物になるかをリュックに詰めて実際に体験しました。児童からは「ラップは必要なの?」といった質問や「水がこんなに必要だと思わなかった」などの声が上がりました。

最後に、災害・防災情報の入手方法としてWebブラウザで『川の防災情報』にアクセスする方法を、実際にタブレットを使って試してみました。

避難情報が出たときには命を守る行動(避難所への避難を基本)をとること、早め早めの準備が必要なこと、自分の命は自分で守ることを確認し、まとめました。



非常持出品の例  
何をどのくらい持っていく?



「水は何本入れる?」  
非常持出品をバッグに詰めます



私たちに身近な常呂川でも  
過去に水害が起っています



防災教育や環境教育も  
SDGsの取り組み



水害が起きそうな時  
どの順番で行動する?



水害時の行動順を  
班でまとめました



非常持出品を背負ってみました  
「バッグが重たい!」



『川の防災情報』で近くの川の  
水位を確認してみよう

### ～知って得する 避難の心がまえ～

避難に高いハードルを感じる方もいると思います。せっかく避難して家に被害がなかった場合、“空振りだった”“避難する必要はなかったのでは”と思うかもしれません。しかし、実際に避難すると、非常持出品の過不足や避難経路の確認、避難所の雰囲気把握など、新しい発見が必ずあるはずです。その発見や経験は今後の避難行動に活かすことができます。避難行動を「空振り(失敗)」ではなく「素振り(練習)」にとらえることで、避難に対し高いと感じたハードルが下がり、早めの避難行動につながるのではないのでしょうか。

出前講座のお申込み・お問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町71番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】0157-23-6118 【FAX】0157-23-6126